

第1次中期計画1年目スタート

10年後のありたい姿を目指して

10月27日に第11回通常総会が開催されました。生活クラブ生協千葉、市民ネットワーク千葉県、生活クラブ千葉グループなどの来賓の方々を含め、58人が出席。総会後には市民セクター政策機構理事長の澤口隆志さんを講師に、67人が参加して研修が行われました(1面に掲載)。



2010年度活動方針及び活動計画

<2010年度活動方針>

私たちは、昨年度初めて「中期計画プロジェクト」を発足させ、5年後、10年後の連合会の役割やあるべき姿を、検討してきました。「我々はなにものなのか?」という問いに立ち返り、「水先案内人」として、ミッションを共有し、将来像を描いてゆこうと考えました。千葉県にW. Coが誕生して26年。「人間の地で地域に有用な仕事場づくり」「女性の経済的自立に役立つ事業」「地域の暮らしに必要な財やサービスを実現するために、民主的な自主管理・自主運営を行う」という当時の言葉は色あせることなく、むしろ現在なおいっそう必要とされています。2012年には連合会誕生20年。私たちは先輩の方々が目指した運動や思いを再確認し、第1次中期計画がスタートする、新たな歩みの年にしたいと思います。

<2010年度活動計画>

事業計画

◆設立支援活動、W. Co組合員の拡大

- 生活クラブ千葉グループと連帯して「(仮称)園生多機能拠点」作りに取り組む
- 介護、家事サービス分野のW. Co創設のための連続起業講座開催
- 託児システム作り
- ワーカーズ・結 市原センターランチ設立支援
- 葬儀事業設立支援

◆W. Co事業推進

- W. Coの日、展示会出店の継続 ・中食プロジェクト準備
- 遺品整理事業の活性化 ・受託事業の利用結集の活用
- おせち料理のデポーでの取り組み ・葬儀事業の県内全域展開
- 食部会、ショップ部会、受託部会の支援活動

◆広報の充実

- わくわ〜くちばの発行
- ホームページ、ブログの活用
- 連合会リーフレットの作成

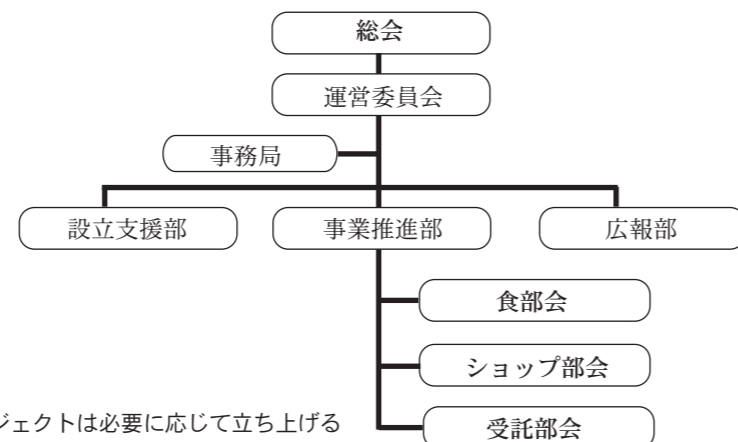
組織運営計画

- ◆事業部の再編 (右図参照)
- ◆エリア活動の強化
- ◆次世代育成のための研修の強化
- ◆W. Co全国会議、実行委員会設置

経営計画

- ◆2011年度事業年度を4月～3月に変更するために、準備をすすめます。

連合会組織図



※プロジェクトは必要に応じて立ち上げる

就任役員、退任役員からのメッセージ

会長 柴山温行

今年度は第1次中期計画の1年目に当たり、まずは、方針や計画を会員一人一人によく理解していただけるように、きめ細かく丁寧な運営を心がけていきます。特に、来年夏にオープンする「園生多機能拠点」の受託事業W. Coの設立支援、4月に事業開始予定の「葬儀W. Coエンディングサポート風」の支援、そして秋に開催予定の「第10回ワーカーズ・コレクティブ全国会議」など、最大限努力していきたいと思っています。また、7年間副会長を務めてきましたので、次なる方々にバトンを渡す準備をしていきます。

副会長 奈良収子

昨年度に引き続き副会長を務めることになりました。この1年は連合会活動の全体を理解することで精一杯でしたが、様々な活動とおし、ワーカーズ・コレクティブという働き方の価値を再確認するとともに、働く場を作りあげていくことの難しさ、人と人とのネットワークの大切さ、などを改めて学ぶ機会になりました。今年度は大きなプロジェクトが控えています。みんなで、じっくり話し合い、着実に取り組んでゆきたいと思っています。ご意見、ご指摘、大歓迎です。よろしくお願いします。

前年度会長 宮野洋子

市民ネットワーク運動、そして生活クラブ生協の理事を経てワーカーズ・コレクティブ歴16年になります。そのうち8年間連合会の役員をさせていただきました。この間、連合会組織内では様々な出来事があり、仲間と紙ふうせんの新事業も立ち上げ大変な事もありました。共に連合会活動を担っていただいた多くの皆様に感謝します。今後は一運営委員としてWNJの代表として、法制化活動、ワーカーズ・コレクティブ運動を推進していきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願ひします。

副会長 中村早和子

私は生活クラブ歴も浅く組合員活動の経験もなかったので、今年度初めて副会長を受けるにあたって、「社会運動」や生活クラブ関連の本などをまじめに(?)よく読んでみました。「生活クラブってすごい! 本気で世の中を変えようとしているんだ」と、感動しました。総会後の研修で澤口さんのお話を聞いて、そのことを再確認でき、「風車」が目指しているものと同じなんだとうれしくなりました。誰もが幸せに暮らせる社会を目指して、連合会の仲間と共に進んでいきたいと思ひます。

第1次中期計画(3カ年計画)ダイジェスト

10年後のありたい姿を目指して、2010年～2012年の事業・組織・事務局・経営の4点について、5つのキーワードをもとに第1次中期計画が策定されました(3号議案として総会で承認済み)。この中期計画をもとに今年度方針を決定しています。

10年後に実現したい・ありたい姿

- ★定常型社会における、主たる担い手となるワーカーズ・コレクティブ
- ★持続可能な新しいコミュニティ・公共の創造と担い手
- ★社会的弱者を排除しない社会作りの実践
- ★生産的労働のための協同組合の実践

5つのキーワード

- 1 次世代育成
- 2 ワークシェアリングの確立
- 3 生活クラブグループとの連帯
- 4 豊かな街づくり提案力の向上
- 5 「協同組合法」法制化推進

●事業計画

- 1) 設立支援活動・ワーカーズ組合員の拡大を推進し、新規W. Co 5事業所、既存事業所の新規事業3事業を目指し、事業拡大していくことによってワーカーズメンバーを300名に拡大。
- 2) 生産と消費の距離をつなぐW. Coの事業を推進するため、マニファクチャの協同連携事業を行い、事業所年報総事業高5億円を目指す。
- 3) 豊かな街作りに向けて、広報を充実させ情報発信を強化する。
- 4) 10年先を鑑み、調査研究に取り組む。
- 5) その他の事業に取り組む。

●組織運営計画

- 1) 30代40代が中心となる運営体制
- 2) 事業部を再編 ①設立支援部 ②事業推進部 ③広報部
- 3) エリアの活動を強化
- 4) 役員体制の見直し
- 5) 研修の強化
- 6) 調査研究にあわせ、3カ年計画の中で4つの研究会を設置
- 7) 20周年記念行事実行委員会の設置
- 8) WNJ全国会議実行委員会設置

*定常型社会:経済成長を絶対的な目標としなくても十分な豊かさを実現される社会

*マニファクチャ:生産工程を分業や協業で行い、多くの人員を集めてより効率的に生産を行う方式

法 制 化 コ ラ ム

2010. 11

9月30日、「協同労働の協同組合ネットワークちば」主催で、WNJ事務局長の藤本千草さんを講師に「私たちが求めている法人格とは?」の学習会を開催しました。私たちの働き方に合うワーカーズ法を求める活動は1989年から始まり、21年になります。この間の運動の流れとどんな法律を作ろうとしているのか?要綱案の内容等、参加者全員で確認しました。

ワーカーズ・コープやワーカーズ・コレクティブが実践している民主的に自主運営自主管理する働き方や、一人1

票の権利をもつ協同組合としての組織運営についてアピールし、各方面での理解を得ていくことが重要です。先進国の中で日本のみ法制化されていない、「働く人の協同組合」を位置づけるために、2012年の国際協同組合年に向けて、新たな協同組合法の制定を成功させたいと思ひます。

WNJ代表 宮野洋子

(連合会が会員団体となっている「協同労働の協同組合ネットワークちば」が活動を紹介するパンフレットを作成しました)